

平成 2 5 年

高 松 市 教 育 委 員 会 1 0 月 定 例 会

会 議 録 (抄 本)

1 0 月 2 2 日 (火) 開 会

1 0 月 2 2 日 (火) 閉 会

出席委員			
委員長	神内 仁		
委員	児玉 令江子		
	木場 巳男		
	藤本 英子		
教育長	松井 等		
欠席委員			
説明のため会議に出席した者等			
教育局長	伊佐良士郎		
教育局次長 総務課長事務取扱	細川公紹		
教育局次長 生涯学習課長事務取扱	赤松雅子		
学校教育課長	森本順二		
こども園運営課長	松本 剛		
こども園運営課長補佐	佐々木利子		
総務課長補佐	諏訪真史		
総務課総務係長	田中正徳		
会議録署名委員	児玉令江子		
事務局担当書記	出上達也		

【特記事項】 傍聴人なし

議 事 日 程（10月定例会）

日程第1 9月定例会会議録承認について

日程第2 議案第30号 男木小・中学校の再開について

日程第3 報告事項

- 1 決算審査特別委員会の結果について
- 2 平成25年度全国学力・学習状況調査に係る結果の考察と今後の指針について
- 3 平成26年度高松市立幼稚園園児募集について

【平成25年10月22日（火） 議 事 内 容】

午前9時30分 開会

委員長が、会議録の署名委員に児玉委員を指名。

日程第1 9月定例会会議録承認について

委員長が、9月定例会会議録承認について各委員に諮り、原案のとおり可決。

日程第2 議案第30号

議案第30号 「男木小・中学校の再開について」

総務課長から、平成26年度からの男木小学校および男木中学校の再開について説明。

<質疑>

- 委 員 再開に当たっての主な課題は何ですか。
- 総務課長 運動場の周りの法面が崩れかけていまして、避難場所にも指定されていますことから、法面改修工事を予定しており、その法面に近接している建物、西棟と便所がありますが、それも危険であるため解体する予定であります。そういった現状の中、課題としては、その工事期間中は瓦礫の搬出等で運動場が使えない状態であること、その他の校舎も、耐震化ができていない部分がありますので、耐震補強工事を行う必要があることが挙げられます。また、それらの工事中は既存校舎が使えませんので、別に仮設校舎を建てなければなりません。
- 委 員 学校行事についてと他校との交流学习についての考えを聞かせてください。
- 学校教育課長 仮設校舎の敷地には運動場が確保されますし、体育館も利用できますので、ほとんどの学校行事について行うことが可能だと考えています。運動会や文

化祭は、過去、地域の協力の下、合同で行ってききましたので、同じように地域と合同で行うことも可能だと思っています。また、他校との交流については、男木は小中併設でありますから、小中一貫の高松第一学園との交流や同じ僻地として庵治第二小学校との交流ができるとと思っています。

- 委員 教職員の配置はどうなりますか。
- 学校教育課長 中学校1年生2人で1学級、小学校5年生3人で1学級、小学校2年生2人と小学校1年生1人の複式学級として1学級と仮定しますと、中学校で4人、小学校で3人の教員を配置することになります。これは管理職込みの人数で、過去、校長は小・中学校を兼務してしまして、今回もその可能性があります。また、養護教諭や事務職員の配置も希望しています。
- 教育長 基準に照らせば今の説明のとおりであります。子供の状況で特別支援学級が必要であれば、教員の人数も増えるかもしれません。
- 委員 指導の体制・内容については、長所短所の両方あると思いますが、保護者に対する説明はどのようにされたのでしょうか。
- 学校教育課長 長所としては、小中ともに少人数学級となることから、個々に応じたきめ細かで充実した指導が可能であり、環境としても、島の豊かな自然を活用できますし、自動車が少なく安全は確保されています。短所としては、小学校1、2年生は複式学級となることから授業中に児童と関わる時間が少なくなること、中学校は9教科全ての教師が揃わないので、教師が自分の教科外の教科を教えることになること、部活動で団体競技はできず、個人競技に限られること、学校行事も内容が限られることが挙げられます。また、人間関係の調整が難しく、良好であれば大きな利点となりますが、一旦こじれると修復に苦勞すると思います。
- 委員 小学校低学年のうちは長所が多いと思いますが、中学校にもなると他者と競争する場面が増え、高校入試は大勢の中で勉強した生徒と同じように受けることになり、家庭や地域の協力も必要になってくると思いますので、保護者には長所短所、両面について十分に理解してほしいと思います。
- 総務課長 瀬戸内国際芸術祭の反省会を契機に、帰住する話が持ち上がったもので、帰住希望者は全員男木島出身であり、中には現在の置かれている集団生活という環境に馴染めていない子供もいるようでした。島での生活や教育の長所短所を理解し

た上でなお、男木島の豊かな自然環境の中、個々に応じたきめ細かな教育を強く希望されている状況です。

- 委員 教師の指導力が問われるところだと思います。
- 委員 教職員の住居はどうなるのでしょうか。
- 総務課長 6畳2間の部屋が10室ある宿舎があり、現在も使用可能です。
- 教育長 最低1人がそこに居れば緊急時の対応が可能ということでありまして、他の人は船で通うことができます。開校していた時は、宿直した時間を含めた一週間での勤務時間を捉えて調整していたようですが、今後の対応はこれから詰めていく必要があると思います。
- 委員 これまで教育委員会としては、複式学級の解消策として学校規模の適正化を進めてきた訳ですが、少人数学級での再開ということで対応方針が変更したことになるのでしょうか。
- 総務課長 施設面等の課題や教育環境の長所短所を充分説明した上での保護者の強い要望、児童生徒数の推移をみると開校期間もある程度見込めること、島での空き家対策から繋がる持続性のある学校運営の期待、地元の強力な支援などを総合的に判断して再開という案を提示した訳であります。集団生活での利点や財政負担の軽減という観点から、それぞれの地域の実情も踏まえて、今まで統合は行ってきた訳であります。一方、個に応じた教育環境の提供という観点も必要だと思っています。何より子供達のより良い教育環境の整備という視点においては、同じ対応だと認識しています。
- 委員長 再開となれば話題になり、離島の活性化としては期待できると思います。ただ、現状の課題について、地元住民に丁寧に説明していく必要があると思います。施設面での財政的な負担もあると思いますが、是非進めていってほしいと思います。
- 委員 今後、集団生活に馴染めず、少し離れた少人数の島での生活や教育を望む島外の子供を受け入れることになった場合を想定すると、教師の資質が重要になってきますので、人事を担当する県教育委員会と連携を密にする必要があると思います。
- 教育長 集団生活に馴染めなくなった子供を持つ家庭が島嶼部や山間部に転居する事例は県内でも多くありますので、受け入れ体制を整える必要性は感じています。

委員長が、各委員に諮り、原案のとおり可決。

日程第3 報告事項

報告事項1 「決算審査特別委員会の結果について」

総務課長から、市議会決算審査特別委員会における審査結果の概要について報告。

<質疑>

(発言する者なし)

報告事項2 「平成25年度全国学力・学習状況調査に係る結果の考察と今後の指針について」

学校教育課長から、平成25年度全国学力・学習状況調査の結果の分析と対策について報告。

<質疑>

- 委 員 全国的に香川県は平均より上回っているということでしょうか。
- 教 育 長 香川県で言うと、中学校国語Bは全国平均より下回っていますが、その他の中学校国語A、中学校数学A、B、小学校国語A、B、小学校算数A、Bは全国平均を上回っていて、上位に位置しています。高松市において、今後力を注ぐのであれば、小学校算数Aや中学校国語Bになり、それらが更に向上すると全て上位になります。
- 委 員 平均値をとる場合の分布として、グラフでいうとU字型なのか、山型なの

かを教えてください。また、生活実態の状況は毎年同じではないかと感じます。急に変化が生じるものではありませんが、少しずつでも効果が表れてもよいのではないかと感じていて、もうそろそろ数年間のまとめを行ってもよいのではないかと思います。生活面は保護者の力が大きく影響し、生活面が安定すれば学力向上にも繋がりますので、事務局内でも改めて担当部署間の連携を密にする必要があると思います。

- 教 育 長 結果の分析について何人かの校長から聞き取りをしましたが、やや二極化の傾向であります。マイ・スタディ等の事業を推進して、下位層の底上げを図りたいと考えています。実際に、前年よりもこの調査の結果がよくなった、マイ・スタディを実施した成果だと言う校長もいますので、教育委員会の事業の効果が出てきているのではないかと思います。また、質問紙調査では、朝食の摂取でいうと、相当増えてきていて、教育委員会の様々な働きかけの効果が徐々に表れてきている項目もありますので、今後、項目別に歴年の推移を分析してほしいと思います。
- 学校教育課長 質問紙調査については実は、3パターンありまして、学校により異なっていて、ここに示している項目は、3パターン全てに共通している項目のみであります。
- 委 員 生活状況は地域や環境で違いが大きいと思いますが、教育委員会として把握しておいて無駄になることはないと思います。
- 教 育 長 自校の実情に即した対策を校長には考えてもらいたいと思っています。
- 委 員 長 この調査に対する現場の教員間での意識はどのような感じですか。また、付け焼き刃でも結果は上がるようなものでしょうか。
- 学校教育課長 現場では、日頃から積み上げてきた学習成果を発揮する場であると受け止めています。
- 委 員 長 そういう観点で見るとこの調査の問題は、よくできている問題と言えるものでしょうか。
- 学校教育課長 問題の意味を理解するのも力を求められるような内容であり、習得した知識・技能を日常生活における課題解決に活かせるように日頃の学習を行わないと、付け焼き刃で解けるような問題ではありません。
- 委 員 長 そうするとこの調査の信頼性は高いわけですね。

- 学校教育課長 小学校では單元ごとにテストを実施しますので、ある程度はできるのですが、この調査は期間を置いて実施されるため、本当に子供の身に付いているかどうか問われることになります。
 - 教育長 文部科学省が掲げるこの調査の本来の目的は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育の結果を検証し、改善を図るためである訳ですが、学校現場の意識や取組みとしては、中学校の診断テストや高校入試に比べるとやや薄いように感じます。常日頃の学習成果を検証する目的からすると取り立てて何か対応するものではないにせよ、年度当初の4月という校内が不安定な状況での実施でもあることから、少なくとも落ち着いた状態で実施できるような対応をするように校長会等で伝えていきます。また、最上位県と香川県を比べると、家庭学習において違いがあるように聞いています。
-

報告事項3 「平成26年度高松市立幼稚園園児募集について」

こども園運営課長から平成26年度高松市立幼稚園園児の募集について説明。

<質疑>

- 教育長 特別支援の決定はどのように行われますか。
- こども園運営課長補佐 児童福祉施設等の職員を含む委員10名ほどで組織する特別支援教育支援会において、園長からの聞き取り等を行いながら決定します。
- 教育長 申込み希望者のみということになるのでしょうか。
- こども園運営課長補佐 そうです。
- 教育長 希望しなかった子供で該当しそうな子供がいた場合の対応は、どのようになっていますか。
- こども園運営課長補佐 その場合は、保護者に話をしながら、園長とこども園運営課で人員配置の可否など、通常学級での受け入れの体制について協議することになります。

- 教 育 長 保護者が自主的に申込み等をすれば特別支援教育を受けられるが、保護者に認識がなく通常学級の方に申し込んだ場合、通常学級のままなのか、それとも年度途中や翌年度から特別支援教育を受けられるのでしょうか。
- こども園運営課長補佐 毎年何十人かは受け入れ後に可能性が疑われる子供が出てきますが、各園に加配講師として配置されている教員を活用してどうにか対応しているのが現状です。
- 委 員 保護者が認めていないとほとんど申込みはないではありませんか。
- こども園運営課長補佐 申し込むのは、既に気がついている保護者や可能性を感じている保護者で、全てではありません。

————— 午前10時55分 閉会 —————

議決事項

「男木小・中学校の再開について」